

豊北地区まちづくり集会（H25.10.20 開催）

豊北地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年10月20日（日）10：30～12：00

◎場 所 豊北生涯学習センター

◎出席団体数 12団体

豊北自治会連合会、豊北中学校PTA、下関市小学校PTA連合会豊北ブロック協議会、滝部小学校PTA、下関市商工会豊北町支所、豊北支部老人クラブ連合会、豊北地区民生児童委員協議会、下関市社会福祉協議会、豊北町女性団体連絡協議会、豊北町ふるさとづくり推進協議会、阿川文化クラブ、栗野はってんクラブ、滝部太陽クラブ、

◎市出席者 総合政策部長：三木潤一、総合政策部政策調整監：星出恒夫  
地域支援課主幹：秋枝淳司、主任：齋藤浩三  
豊北総合支所地域政策課課長：宮田和弘

◎傍聴者 4名

◎次第

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会                 | 10：30～ |
| 2 部長あいさつ              |        |
| 3 基本的な推進方向について        | 10：35～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明       |        |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 11：00～ |
| （1）地域課題について           |        |
| （2）課題解決や活性化などについて     |        |
| （3）総括                 |        |
| 5 閉 会                 | 12：00  |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

豊北地区まちづくり集会（H25.10.20 開催）

【開催の様子】

10月20日に開催した豊北地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から12名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、豊北地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

豊北地区まちづくり集会の中で、参加者どうして話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

豊北地区まちづくり集会				豊北地区まちづくり集会			
10月20日				10月20日			
地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）	地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）
<b>文化</b> 大翔館等施設の案内看板が 少ない(来館者が少ない)		既存看板の管理徹底及び 案内看板の無いものは新 たに設置		<b>福祉</b> 独居老人の増加に加え支援者 も高齢化		地域と市が一体となって考 える	
<b>公共施設</b> 公共施設(河川・道路)の管理 不足による危険		協働		地域の看護・介護人材不足 (人材の都市部流出)			
<b>地域内分権(教育)</b> コミュニティ・スクールと住民自 治組織の役割が重複		河川・道路を地域で維持管 理	地域で維持管理しやすい 仕組みづくり	<b>まちづくり(2)</b> 既存まちづくり組織と新たなま ちづくり組織の整理・検討			
<b>人口</b> 人口減少から人口増への施策		コミュニティ・スクールへの 地域理解を深める		<b>観光</b> 地域の観光資源に回遊性を持 たせることが必要			
<b>教育</b> 少子化に伴う小学校統合		町内・地域独自のイベント 開催		<b>子育て</b> 子育てしやすいまちづくり			
<b>まちづくり</b> 地域の自主的なまちづくり活 動への市の支援不足		地域の意見を集約・市へ提 案	地域の実情・意見を速やかに 施策に反映(小学校統 合)				

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

豊北自治連合会の会長をしております。どうか一つよろしく願いいたします。大変僭越ですが司会ということで、上手く纏まれば良いがと思っておるところでございます。

先程からも話が出ておりましたが、豊北町もそうですし、下関市もそうですが、人口が減少しておると。そういう中で、地域の発展をどうしていくかということが問題だろうと思います。地域の私たちは、行政に向かってその全てをお任せするというのではなく、また行政の方は行政の方で全部請け負うと、請負主義にならないような格好が一番良いのではないかと思っております。

地域は地域で1つの課題を解決し、また行政は行政で解決していくという2つの両輪となってこれを進めていくというのが、一番良いのではないかと思っております。

そういうことで今から、11時半ぐらいを目当てに各団体、それからPTAとか各連合会、協議会の方がいらしております。その立場でも結構ですので、まちづくりに対しましてご意見を出して頂いて、まとめて頂いて、あと2番目の課題解決や活性化について、これも話し合いたいと思っております。どうか一つよろしく願いいたします。それでは座らせて頂きます。どなたからでも結構ですのでお願いいたします。

【市民】

滝部太陽クラブです。

現在、下関市豊北歴史民俗資料館に準備委員会から一応ずっと参加してまいりました。それで、現状、入館者が思ったよりもかなり、ちょっと少ない部分があるのですね。

私が、気が付いたことですが、案内板というか、これが1箇所ぐらいしかないのですね。道路を走っていても、そのままちょっと汚れたような状態で、あそこが資料館ですよというような案内板が汚れて見えないのと、道路に面した所にそういった案内板が無いということがあります。

そこで、ちょっと町内を廻って見たのですが、色んな指定を受けている良い物が、この地域に結構あるのに、そういう案内板とか、そういう物の数がちょっと少ないのではないかなと思っております。だから今、車で通られてカーナビ等でそういう部分で、その場所、史跡とかそういう所は出てくるのですが、もうちょっとそういう所を気づいてもらえるようにしてもらって、今の角島でも、今はお客さんが多いですが、この町内を回れるような形で案内を出来る様なものがあれば良いかなと思っております。その辺どうでしょうか。

【司会】

はい。ありがとうございました。次にどなたか。

【市】

頂いたご意見は、簡単に整理しまして、ここのスクリーンにお出しします。

【市民】

昨年のタウンミーティングでも私は申し上げたのですが、確かに自助・共助・公助とい

うことが云われております。もう公助に頼る時代じゃない訳ですね。従って、何か共助、地域でやれることは行政に代わって無いかということで色々考えたのですが、例えばの話ですが、道路の清掃作業、草刈りですね。それから河川の浚渫なり清掃、こういったものが大きな、例えば国道とか県道というものは、これは国なり県が業者を雇ってされるわけですけど、市道になると全くなかなか放置されたままという所が、豊北町内は大変広い訳ですから、各地にそういったことが見受けられる訳です。

そういったものを、例えば河川の場合、小さい1.5メートルから3メートルぐらいの市の河川になるのですが、そのまま放置されたままでありますので、ずっと石が溜まって、その上に泥が溜まって草が生えると。そうすると、浚渫しようにも高齢者ばかりですので、地域、地域でもなかなか難しいということで、ずっと放置されたままになっている訳です。

そうしますと、大雨が降った時には、川の深さが余り無いので、上に溢れて農地にその水が皆、流れていくといったような災害が頻繁に起こります。

そういったものが河川の場合は、機械機具が要りますから、大きな石とか除ける場合には、当然、人間の手ではなかなか難しいです。業者から機械を借りると、地域だけでやるといったらお金が掛る訳で、そういったものを行政の方で借入れを負担して、実際の仕事はその地域がやるといった様なことが出来ないものかなという事で、今年のタウンミーティングで中尾市長に是非お願いしたいという話をしました。

こういったことは、いずれは共助でやるべきものじゃないかと、行政ばかりにいつも頼っていてもなかなかいつになるか分からんという現状でありますので、道路整備というか道路の清掃作業ですね、市の管理道とか、或いは市の河川とかいったものが、だんだんと住民も高齢化して、なかなかこれから難しくなってくるので、その地域、地域でそういったものがやれるようにできないものかな、という気がいたしましたので、昨年、この資料の中にも有るようですけど、今後、検討されたらという風に思っております。

#### 【司会】

ありがとうございました。他にご意見は。

色んな団体の方からおいでになっているようですが、自分の立場からでも結構だと思います。学校のPTAの方もいらっしゃいますが、ご意見は。

#### 【市民】

豊北中学校PTAの会長をしています。今日は、よろしく願いいたします。

先程、ご親切な説明がありまして、内容については概略で理解をさせて頂きました。まちづくり集会の概略については、先程も説明があったのですが、中学校でも現在、コミュニティ・スクールというのを推進しておりまして、全中学校単位でコミュニティ・スクールの準備委員会が立ち上がって、既に動いているところです。

活動の内容についても、ほとんど同じような形で中学校と地域の方が連携して、様々な支援を活用して、その地域の学校内での問題を解決しようという動きになっております。

ですので、同じような内容がかぶってしまうのかなという気がしました。

その活動において、どちらが主体とかですね、ちょっと迷いが生じるのかなというように気がしております。

それから、その辺は少し何かまとまりが無いような気がしますので、どの様に今後進めていくのかという方向性を示して頂いた方が、今後の動きがスムーズになるのかなという風に感じております。

【司会】

ありがとうございました。他にご意見はございませんでしょうか。女団連から何かありませんか。

【市民】

町の老人クラブの世話をしております。よろしく申し上げます。

今からお話しすることは、前々から考えておった事ですけど、先程、行政の方で人口減少というお話がありました。私も人口の減少という、あの2字を除けて、人口増加というような言葉が出て来ないものかと思って、考えておるわけです。

なぜ、そういうことを考えるかという、将来に渡って若者が豊北町で暮らす時に、夢や希望が持てるんじゃないだろうか。人口が減ると、そういう夢や希望も落ちぶれるんじゃないだろうか、というようなことを考えておるわけです。それで人口を増加させるために何をしたら良いかというので、先程、豊北町ふるさとづくり推進協議会の方からも話がありましたが、その地域の豊北町内でのイベントというか、そういうものが人口を増加するきっかけになるんじゃないかと思うのです。

まあ素人の考えでよく分かりませんが、何か町内独自のイベントを持つ、更には地区でのイベントもやろうと思えば出来るんじゃないかと思えます。そういうイベントを持つからにはお金も掛るし、なかなか上手くいっていないのではなかろうかという様なことを考えております。

【司会】

ありがとうございました。女性の方からお願いいたします。

【市民】

ちょっと私、勘違いをしていたのですが、まちづくり会議というものを作りたいという、行政のこれは趣旨の会議だったというのが初めて分かりました。

まちづくり会議とか、ふるさとづくり推進協議会、自治会連合会って沢山あるんですね。だからどうせ、このまちづくり会議っていうのになっても、同じ人が自治会の連合会とか、そういう人がトップになって同じ事をするのだからという風に思っていたのですけれども、まあそれはそれで、市がやろうと言うならそれで良いと思うのですが、今、豊北町の現状としましては、ここにありますように豊北町の課題、私が一番思うのは少子化に伴う小学校の統合なわけです。私はそれが豊北町にとって今、一番の課題だと思っているんです。

来年、小学校に上がる子供達が今、校区が自由なものですから、ある地域に3名の小学生が入学するという風になっていたのですけれど、3名共、他の学校に行くと。

そうすると、住民の方の側が、行政よりも先に進んでいて、もう学校を統合したいと、そういう思いが沢山ある地域が出てきています。それなのに行政としましては、その中間報告として27年度ですかね、何年度かにその答申をするっていうようなお話を、何か山口新聞に1週間ぐらい前に書いてあったみたいなのです。ですから、もし小学校で、この

豊北地区に小学校を統合したいという地域があれば、それをすぐ行政の方が察知して、どういう風にしたらその子達のために良いかとか、車の便はどうするのかという事を早急にして頂きたい。

そして、ある地域なんか3人の内、2人ほど違う小学校に行くと。1人はどうしても親の都合で連れて行かれないという事で、その小学校に残るといってお話を聞きました。

ということは、本当の事を言うと、その子も車の便さえあれば、違う学校に行きたいと思っているに違いないのですね。ですから、そうなった時に本当にその子供達とその親達が一番悲しい思いをしているので、早急にこれは小学校の統合というのを考えて頂きたい。

今、市内に小学校が50何校でしたかね、下関にあるのが52でしょ。その中で豊北町に7つも8つもあるんですね。これを1つに統合すれば、今は耐震化問題とか、色々と山口県が一番小学校・中学校の耐震化が悪いと言っていますけど、先に統合すればそういうことも効率が良くなるんじゃないかなという風に思っています。

それと1つですね、住民自治によると色々と住民が主人公で、何でもするっておっしゃっておいりましたけれども、私が住んでいる二見地区は、福祉バスといって、病院に行く人達を、自治会が車を購入して毎週連れて行っているんですね。これが既に7年目に入っております。本当に皆さん、ボランティアで連れて行っております。だけどその私達が、一生懸命、自治会がお金を出してしているにも関わらず、その車がもう古くなったので、市にそれを買って欲しいという要望を出しましたら、JRが通っているだとか、交通の面でバスが通っているの、そういう所には、交通面において車を差し出す、貸し出すとか差し上げる訳にはいかないという風に、せっかく住民自治と言いながら住民が一生懸命やっているところに、行政が手を差し伸べてくれてないという面では、ちょっと不公平かなと思っております。そういう面で、やっぱり自分達がやっている所に、行政が手を差し伸べるというのが一番だと思うのですけれど、その所がもう少し効率良とか、その拡大解釈して何かしてやろうっていうような事をして頂ければ、そこに住む住民も安心して暮らしていけるのではないかなと思っております。

皆それぞれ、各地区の自治会が、皆一生懸命に頑張っているんですね。そういう面で、是非、行政の方からのお願いごとじゃなくて、私達がやっていることに行政が手を差し伸べて頂きたいというのが現状でございます。今、そういう困っていることが2つあります。

【司会】

ありがとうございました。社協からはありませんか。

【市民】

下関市社会福祉協議会の豊北担当理事をしています。

地域福祉の答申ということで、社協では今、地域の福祉の輪作り運動を進めておるところです。そして、各自治会長さんが福祉委員になっておまして、それぞれ小地域の福祉推進会議っていうのをブロックごとに年間2回ずつ会議を開いて、今、高齢独居の老人がどんな形になるか、あるいは老人世帯がどういうふうな形で今、生活しておられるよということを、その自治会ごとに色々と話をしながら、それぞれの手助けをどうしたら良いか、そして今、どういう風な状態にあるかという事を、福祉委員と民生委員が共有しながら進

めておる所です。

今、そういう風な形で輪作り運動を進めてはおりますけれども、年々独居老人の方、或いは老人世帯の方が増えております。この辺が歯止めはだんだんと効かなくなってくるとは思いますが、逆にそこの老人世帯をずっと見ている、その人がもう老人であります。

それから、各世帯によると老老介護でやっている世帯が大変に多いという事で、それぞれその見守り活動が大事だな、今それを原点に地域福祉を進めておる所です。

特にそれぞれ高齢者になると、認知症になる方がいるということで、今度はそれをどのようにするかっていうのが、包括支援センター等とも連携を取りながら、今、進めておるところですけれども、そういうふうな形でだんだん老人が増えておるっていうことに、今一番危惧って言いますか、努めておるところでございます。

もう1点は、先程、豊北町ふるさとづくり推進協議会の方が言われた、ふるさとづくり推進協議会、今年の春まで私が会長をやっておりましたけれども、このまちづくりの実態っていうのは、この会議とある程度重なることが多いんじゃないかなと思いますので、そのふるさとづくり推進協議会と今のまちづくり集会というのは、ある程度整理しながら整備統合するか、何かした方が良いように私は思いました。

#### 【司会】

ありがとうございました。かなり時間も経ちましたが、どなたか他にございませんでしょうか。先日、市の連合自治会の方で、実は高松市と高知市に研修視察に行っておたわけですが、その中で高知市の子供ファンドって、これ全国で2番目らしいのですが、そういうのを立ち上げられまして、地域発展に貢献されておるという説明がございました。

大変、良い事を聞いて帰った訳ですが、これももう時間もありませんので、またの機会にいたしたいと思いますが、最後にどなたかと。商工会からお願いいたします。

#### 【市民】

下関市商工会豊北町支所商工会から参加しました。

今、皆さん方のご意見、思いを皆色々な立場から聞かせて頂きました。本当に、そのこと1つ1つ大事なことと思います。私は、少子高齢化、過疎地こういう中で、角島大橋も大変な力になってもらったし、また今の道の駅、これも素晴らしい成果を上げて進めてもっております。

ただ、これから商工会ということじゃなくて、もう少し広い意味で意見を述べさせてもらいますと、田耕地区の例えば中山神社、中山忠光卿のお墓があると、そこを上がって行くと風車による発電、あるいはソーラーによる発電も設備がだんだん整っているようでございますし、これも道の駅に来たら、ついでにあそこに行ってみようかというようなことで、少しずつでもそういうものが広がっていく、昔からこの地元では有名なものが廃れておりますが、それを角島大橋、または道の駅を商工観光の資源の核として、せっかくここまで来たら薬師の方に行ってみようかっていうぐらいのものに、まず綺麗にしたいな、できたらいいんじゃないかな、整備されたらいいんじゃないかなと思います。

やはり、そんなことじゃあ間に合わないかもしれませんが、結論的には子育て世代の人に増えて貰うには、これしかないと思います。

もうそのためには、働く場所は下関の旧市内でも長門市でも構わん、とにかく豊北町に戻って、ここに住もうという子育て世代の人を、どうやって豊北に魅力があるか、そして住むなら、やはり豊北町だというふうな町にできたら良いなど、自分は勝手なことを考えておるわけですが、皆さん方のご意見が色々と出ました。私は、この中から僅かでもその方向のものが見出せたらこれ以上のことはない、またそれが絶対に必要だと、子育て世代の人が住むという地域でなかったら、やっぱり住むなら豊北町だというような町に、何年か先にでもそうなったら良いなど。

これがまあ意見というより、お願い希望でございます。以上です。

**【司会】**

ありがとうございました。その他には。

**【市民】**

人材派遣センターが旧下関市にはありますよね。或いは職業安定所とかいうのがありますが、福祉関係で今、看護師、看護職員、或いは介護福祉士といった介護職員がもう人材不足となっています。

今、豊北町の場合は特別養護老人ホームが3つあります。それから養護老人ホームが1つ。それから知的障害者施設が1つ。数は沢山ある訳ですが、なかなかそういった看護職員とか介護職員みたいなのが人材不足でおりません。皆、旧市内の大きな病院に勤めに出られます。田舎では、いよいよもう人がおらんということで、看護師を置かなければその施設の運営が法的にできませんもので、もう四苦八苦してやっているのです。

これをいちいち職安に行って、誰かいませんかと再三に聞く訳ですけど、何とかその総合支所でも、そういった人材が登録されたら、豊北総合支所でも出来ないものかなということ、つくづく常日頃考えているのです。

その都度、旧市内の職安とか人材派遣センター辺りに行って、看護師はいないでしょうかというような話を、度々、関係職員が聞いてくるのですが、なかなか人材がない。

皆、大きな病院に看護師さん、或いは介護士さんが勤めておられるということで、もちろん給料は高い訳です。そういった意味で、度々、下関、旧市内まで行くのは大変なのです。ですから、何とか総合支所に聞けば分かるというようなことも、そういった派遣センターのような業務がなんか、法的にどうかは分かりませんよ、そういうのをして良いかどうか分かりませんが、出来ないものかなということ、常日頃考えておりますので、大変今、困っておりますので、これは課題とかいったものではありませんけれど、ご検討して頂いたらという風に考えております。

**【司会】**

ありがとうございました。それでは時間もちょっと過ぎましたが、まあ色々な意見が出て参りました。全ての方に意見を伺うこともできませんでしたが、今後もまた色々なこういう場で、意見を伺うものだと思っております。これが今日、全てが解決し、また方向性が出るというものでもございませぬ。1年、2年、或いは3年と経って、初めてこのまちづくりの方向が出るのだらうと思っております。そういう事で時間も経ちましたので、次の2番目の課題解決や活性化について討議して頂きたいと思っております。

今、ご発言のあった意見は、あの中に大体まとまっているのだらうと思います。

それでは、文化面から太陽館等施設の案内看板が少ないというご意見が出ていますが、これは個人で解決するとか、地域で解決する、それから行政が解決することになっておる訳なのですが、どれが解決策の1番か分かりませんが、皆さんどうしたら良いという解決策がございましたら発表して頂いたらと思います。

今日、全ては終わるかどうかは分かりませんが、あと55分頃までよろしく願いいたします。どなたか意見を。

この太陽館、大変来館者が少ないということが出ておりますが、これ行政にどうかしてととっても、これまた、ここは陳情の場でも要請の場でもございませんので、特にそこまではいかないと思いますが。何かご意見がございませんか。

なかなかこういう事が良いと、こうしたら良いよという事も出ないかと思いますが。まあ簡単に何かございましたら。

【市民】

そういう看板等を設置するというのは、これは行政ではなくて、そこの地区がやるわけですか。

【司会】

意見を出されたからといって、必ず地区がやらなければいけないという事ではないのですが、皆さん方の解決策として、例えば、そんなものは個人で出来るじゃないかということになるのか、地域でやった方が良いという、その辺の大まかな所まで出れば、後は、今からずっと将来に向けて詰めていけば良いのではないかと思います。

【市民】

私が言ったのは、これは1つの例としてですが、町内、地域を見た時も、結局、今言ったように、こちらから下関側に行かれると分かるのですが、道の駅の看板には、もう蔦が巻きついているだとか、その見えない部分が多い。

せっかく、先ほども下関市商工会豊北町支所の方が言われたように、良い物があるのにそこにちょっとした案内板が無いから、先程も言われた、せっかく皆がこういう角島とか道の駅に来られるのに、帰りにちょっと寄ってみようかなとか、そういうような形で、ちょっとした案内板とかそういうものがあっても良いのではないかなという、まあ1つの案ですがね。

【司会】

分かりました。今どこをやるかという事まではならないかと思いますが、1つの意見として、確かに是非必要だらうと思います。これをどこに求めていくか、また誰がやるかというのは、個々の課題としてとりあえず置きたいと思います。

次に、道路の管理不足による危険箇所が多いということなのですが、これどなたが意見を出されたのですかね。もうこれも今後どうしていくかというのを、これは行政にお願いするとかいう事になるかと思うのですが。

【市民】

行政にお願いするという意味で言った訳では無いのですが、行政とそれから地域が共同

して出来ないかと。

例えば河川を浚渫する時は、機械機具が当然、必要となります。土建業者からその機械持ってくるだけでも10万円とか15万円掛りますので、その借入れを市の方に出して頂きたい。

実際の仕事は、地域の人がやるというような方法はできないものかという意味ですから、共同でやると、究極的には共助でやるということなのです。行政に頼るという事だけではありません。

#### 【司会】

分かりました。まあとりあえず、地域と行政でやるということで、その辺の所でまとめておいたらと思います。

次にコミュニティ・スクールと住民自治組織の活動という事なのですが、これはPTAの方のご意見だと思うのですが、これもなかなか今、小学校あたりコミュニティ・スクールというのを色々やっております、これは各地域の小学校、或いは中学校でどれほど効力といいますか、能力を発揮しているかということ、ちょっと疑問な訳ですが、私たちもこのコミュニティ・スクールというのには、参加させて貰っておりますが、まあ意見としては、バラバラ出まして、なかなかまとまりがつかないのが現状のようです。

今からの教育というのは、地域と、或いは家庭と学校とが一体となった、3つが一体となったの教育ということが言われております。そういう事に地域は、どういう風に関わりあったら良いかという事を言われたのだらうと思います。そのことでしょうね。ではそういうことで、まとめておきたいと思います。

それから次に、人口減少から人口増加の施策と。まあ町内、地域独自のイベントを開催したら増えるのではないかとというような事も言われております。

また下関地域においても1～2箇所、確かに人口が増えている所がございます。これは増えたというよりも、ただ人口が移動したという事だらうと思います。まあ全体としてどうするかというのはなかなか難しいと思いますが、一時の人口をどうかなら、これは何かイベントでもやれば沢山の方が来られるという事になるかと思いますが、この全体を増やすという事になりますと、これは大きな問題で、国の政策等も関係してくるかも分かりません。そういうことで、これはちょっとこの辺で置いておきたいと思います。

次、少子化に伴う小学校の統合という事が出ております。これは、なかなか難しい問題、子供さんが減るということで、どうやって子供さんの数を増やすかという事が、この問題だらうと思うのですが、先程も話が出ておりました地域の実情を行政は見てくれ、ということをおっしゃっていましたが、これも子供を増やすという事になりますと、これは大きな問題で、なかなか地域で解決できるものでもないかとは思いますが。

この小学校が統廃合になることについては、行政あたりも地域の皆さんに十分知らせると、そして一緒に考えてもらうということが必要なのではなかろうかと思っております。そういうことで良いですか。

#### 【市民】

いいえ、違います。

子供が少ないからとか、子供を増やすから学校を統合するという意味ではないです。

今、既に子供の数が少ないから、統合したらどうかという事なのですね。地域でそういう風に子供が少ないから統合しようと思っている所があったら、速やかに行政にお願いして、それを即座に、1～2年掛けてというのではなくて、早急にして欲しいと。

そのためには、通学のための足の確保とか、そういう事をちゃんとして欲しいというのが私の思いで、私はこれ、今日はまちづくり会議で、こういった話をするというのを知らなくて、まちづくり集会で何か言いたい事を言えば良いのかなと思ってきたら、まちづくり会議をしようかっていう、こういう行政の思惑と、ちょっと私の考えが違っていただけでも、やっぱり豊北町の現状を考えたら小学校の統合は、絶対に必要だから是非、行政の方に、これは教育委員会の管轄かも分かりませんが、今日は教育委員会も来られていませんけれども、一応行政にお伝えしておこうと思って発言させて頂きました。

#### 【司会】

分かりました。じゃあ、そういう風に意見としてまとめておきたいと思います。

次にまちづくり。地域の自主的なまちづくり活動への市の支援が不足しているということです。これはまあ、財政的な市の色々な支援があると思うのですが、これは地域でお願いをするということです。支援不足ということですから、財政等、全ての事に掛かるのだらうと思います。これもこれから先、本日この方向性を出すという事でもございませんので、まあ意見としてこれでまとめておいて頂きたいと思います。

これは福祉の関係で、独居老人の動向に加え、支援者の高齢化もしているという事で、どうしたら良いかという事だらうと思います。

これも、どこの地域も全く同じことで、老人が増えた、じゃあ支援をどうしたら良いかというのは大きな課題になってくる訳です。

まあ行政の方も、それから地域の方も両輪となって、これを支えていくということになるんだらうと思います。まあこれも色々福祉の関係の方でもやっていらっしゃいますし、或いはまた、福祉委員の方も地域で活動されております。これは色々一体となって方向が出るんじゃないかかと思っています。これも地域の共助という事だらうと思います。そういうことで、とりあえず本日はまとめておきたいと思います。

次の看護、介護の人材不足。都市部への流出という事ですが、これも緊急の課題だらうと思います。地域の介護施設に行ってみますと、大変この介護の人材が不足しているということで、介護される方を募集しても、なかなか来てくれる方がいないというのが現状のようです。これもやはりお年寄りは大変増えておられるという中で、これも行政と地域と一体となって考えていくべきものだらうと思っています。そういうことで、とりあえず今日は収めておきたいと思います。

それから、既存のまちづくり組織と新たなまちづくり組織の整理検討という、これまた大きな問題で、ここで解決できるものでもないかと思っています。まあ、まちづくり、今までのまちづくり、それから新たなまちづくりの組織における整理ということです。これも一体となってやらないと、それこそ旧組織も、同じような色には染まっているのですが、旧組織が色の濃いものになったり、あるいは新しい組織が色の薄いものになってもいけない

と思います。お互い混ざり合っただけで、このまちづくりというのができると思います。そういうことで今日は置いておきたいと思います。

地域の観光資源に回遊性を持たせることが必要、これ全くその通りだと思います。観光資源があつて、これをその場に放置しておくというよりも、これを十分に活かすということが大変に必要なことだろうと思っています。この辺でまとめておきたいと思いますが、何か皆さん方からご意見を、こうしたら上手くまとまるとか、何かございましたらどうぞ。

なかなかこれは、まとめにくい問題でございまして、誰がまとめるかというのはこれは大変で、今日で終わった訳ではございません。

これでよろしいですか。

【市】

はい。まとまっています。私の方から、じゃあ最後に申し上げてというかお話をさせて頂きましょうか。ようございますか。

【司会】

はい。

【市】

すみません、ありがとうございます。

随分ご意見を頂きましたが、まず初めに、若干、行き違いがありまして、実は昨年行なったタウンミーティングのような要望・陳情の場ではないですよ、という風に豊北自治会連合会の会長に申し上げました。

そのため、どちらかというと自助・共助ということを中心にお話をして頂くという事が1つあるのです。あるのですが、今、端的にご意見を頂いたように、地域で抱える課題をお出し下さいということをお願いしていますので、そのために公助という欄をわざわざ設けております。そういう意味では、それを含めてご意見を頂くというのは、全然結構でございますというか、この中でその回答はなかなか申し上げられませんが、そういう課題があるということをお出し頂くのは、何ら問題無いということでございます。

ただ、そういう話の中で、例えば自分達はこういう所、そういうご提案もありました。こういう所は出来るから、違う部分を行政で何とかならないかという、そういう問題も多分にあるだろうという事での課題抽出であり、解決策の検討ということで申し上げております。

ですから、何ら差し支えないというか、失礼ですけれどもお出し頂くのは、もう一度持って帰って、こちらの方で検討させて頂くということは当然でございます。

そういう意味では、原課に振らないといけないという話にもなりますが、そういうことでございます。

それと、1つはまちづくり会議というのは、我々が意識している中に次のステップとしてあるということで、今回は、そこを余り意識してご議論を頂く場では無いという事でございますので、そういう意味で、1つは豊北町ふるさとづくり推進協議会、既にこういうまちづくりの組織があるという事でございますので、今後、そのまちづくり組織という、まちづくり会議と言っていますが、そういう組織を作って頂くというのは、全く置き換え

られるものであれば、推進協議会がそのまま組織になって頂いて結構だと思うのです。

ただ、お話の中にあつたように、この地域分権とは別に、1つはコミュニティ・スクールというような、ある意味、学校内の地域分権というようなものも既に市内全域で進めております。この辺りの整理は、行政側でさせて頂かないといけないし、そういう意味では、まちづくり会議なるものをどういう位置付けにするか、ということを確認にしていく中で、整理させて頂きたいと思っています。棲み分けをするのか、吸収するのかという話になると思います。

そういう意味で、1つは政策調整監の方から若干申し上げましたが、全体のコーディネーター役の組織という存在として、まちづくり会議というものを作る必要もあるのかもしれない。

ですから、大変失礼ですが、推進協議会はありつつ、果たして、全ての課題をここで一元的に管理されて、整理されているかとなると、既に他にも色々ございますね。発展クラブあり、太陽クラブありと、こういうそれぞれの活動の中と、このまちづくり推進協議会がどういう位置付けになって、どういう整理をされているかというのが、これからの組織立ての上で、1つの課題になってこようかと思っています。どういう整理をしていくか。

先程、豊北町女性団体連絡協議会の方からお話がありましたような、それこそ、この前もご質問を頂いたのですが、二見の方でコミュニティバスといいますか、車を出されて、これは今、我々が持っている制度の生活バス、或いは地域福祉バスと言いますか、そういったものの制度の中に、女団連の方からもお話があつたように、乗っからないんですよ。

ただ、おっしゃられる事はごもっともで、私、実はこの前の議会でも答弁させて頂いたかと思うんですが、現制度の中では処理できませんという言い方をしていました。多分させて頂いている。だからこそ、今後、新たな制度として何らかのものができないか、ということを考えていかないとイケませんね、ということでございます。

それが正に1つは、地域で解決している事に対して、公の方がどう支援していくかっていうのを全体の中で整理させて頂ければという、1つの事象かなと思っていますので、是非、また進めていく中で整理をさせて頂きたい。

そういう意味では、豊北町全体、まあ1つは豊北町全体でまちづくり会議が1つで良いのかどうかという問題も当然あるのですよ。

中学校区と先ほど申し上げましたが、それもあつたのですが、或いはそのまちづくり会議というものが豊北町に1つあつても、地域別の何らかのセクションが要るのかということも、よく考えていかないとイケないと思うのですよね、全体の枠の中で。

やはり限られた、要するに予算という言い方はあれですが、財政的な支援もあるでしょうから、そういう意味では、そう言いながら、全体ではなかなか活動しきれない、地域ごとで、また豊北町の地域内ごとで、抱えている課題の違いもあると思いますので、そのあたりをどう整理して、どこに配分していくかという問題にもなるかと思っていますので、その辺りも運営の仕方がどうだという事も、よく考えていかないとイケないと思っています。

そういう事で、もう1点、個別の話させて頂くと、先ほどの小学校の話は、多分27年度というのは、今の2次の適性配置のその計画を立てます。ただ、先に住民側の方が覚

えていると言うのなら、それはそれでちょっとまたお伝えしておきます。今の計画の中で、できないという訳では無いはずなので、或いは物理的に出来るのか、出来ないのかという問題で、何か言っているのかもしれませんが、ちょっとそれはお伝えしておく。

それと少子高齢化、或いは定住人口の増加という話。これは正に豊北町だけという話じゃなくて、市全体としても当然あって、特に豊北町については人口減少の問題、或いは少子の問題等々から特段の課題として挙がって来るのだらうと思います。

これは正に、地域だけでは絶対に解決できませんね。行政としてどう取り組んでいくかという問題があります。その中で、地域の住民の方々にこういう所をやって欲しいということが生じてくるかもしれませんが、それはちょっと大命題でございますので、もう1回考えさせて下さい。

ある意味、今言う観光というもので、交流人口の拡大だけでは、なかなか解決が見つからない所があります。ある意味、その1次産業をどうするかという所に、豊北町においてはあるのかもしれませんが、先程、豊北町ふるさとづくり推進協議会の方がおっしゃられた介護、或いは福祉という関係の職場、人員不足が生じているのをどう解決するかという所の中に、豊北のご出身で、そういう資格を持った人を、もう1回、何らかの形でここに定住させて、従事させるという方法を新しく考えていけない所もあるかと思えます。当然、そう簡単にいく問題ではないと思っておりますが、抜本的な制度改革だとか、或いは方向の発想の転換をしながら、もう1回考えないといけないのかなと思っておりますので、これはまた、そうは言いながら、行政がやることについては、なかなか生き目がいかないので、地域のご意見も頂きながら、どういう事をやったらそういう所の解決がつくかという所も、一緒に考えていく必要があるかと思っております。

すみません。雑多なお話になりましたが、そういう意味で非常に、全般としては貴重なご意見を頂いたという風に考えておりますので、あくまでも今日は導入部分ということで、そういう事の意識を持って頂こうという事でございますので、これからのステップとしては、そういう総合的な、地域が出来るという所の組織作りをして頂こうという事で、何回も繰り返しになりますが、今の組織とかぶっている部分も当然あるかと思えます。その辺の整理は、今からの中でさせて頂きたいという風に思っております。以上でございます。

**【市】**

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、豊北地区のまちづくり集会を終了させていただきます。

どうもありがとうございました。